

E V 充電サービス事業への参入

2023年11月27日
関西電力株式会社

当社は、公衆エリアにE V 充電器の設置を行う「E V 充電サービス事業（以下、本サービス）」へ参入します。今後、全国の商業施設や家電量販店、ホームセンターなどの小売店等に対して、本サービスを展開してまいります。

具体的には、2024年2月頃から、E V 充電器の導入先企業^{※1}と連携し、サービスを先行開始する予定です。その後、2024年4月頃から全国へ拡大し、2024年度末までに1,500口の充電器設置を目指します。

現在、政府は、E V の充電器設置について、2030年までに全国で30万口とする方針を掲げています。しかし、2022年度の設置状況は約3万口に留まる状況で、E V の普及拡大に向けて充電インフラの整備が課題となっています。

こうした課題に対して、充電インフラを整備するとともに、当社が有するエネルギーマネジメントの知見やノウハウを活用することで、本サービスでは、時間単位での充電予約機能や、時間帯別の料金設定機能等、新たなシステムを提供します。

これらの機能の組合せにより、導入先企業では、閑散時間帯等に時間帯別料金を設定することで、その時間帯の集客効果が期待できます。

また、E V をご利用のお客さまは、あらかじめ充電時間を予約することができます。その結果、充電料金が安価な時間帯の選択や充電渋滞の回避ができるなど、E V 充電に際し、お客さまの利便性が向上します。

【本サービスの概要】

① E V 充電器を設置する商業施設や小売店等向け

- 充電器のご提案、補助金申請から工事・設置・運用までの一連のサービス提供
- 専用システムの提供^{※2}
 - ・ 時間単位での充電予約
 - ・ 時間帯別の充電料金単価設定〔国内初〕
 - ・ 充電利用時に商業施設等で利用可能なクーポンの配信
- ゼロカーボンに関する取組み支援
- 充電器を含む施設全体のエネルギーマネジメント

② E V をご利用のお客さま向け（個人・法人）

- スマートフォンから充電場所、充電時間、充電料金を選んで充電できる専用アプリの提供

※1：(株)エイチ・ツー・オー商業開発（イズミヤSC等）、上新電機(株)、(株)トライアルカンパニー

※2：導入先企業が当社から提供された専用システムを活用のうえ、E V 利用者へ提供するもの。

以 上

添付資料：E V 充電サービス事業への参入

E V 充電サービス事業への参入

2023年11月27日

関西電力株式会社

E V 充電のご利用シーン

- E V 充電のご利用は、大きく、「私有エリアでの充電」と「公衆エリアでの充電」の 2 領域に分類される。
- 当社は、**2024 年度から「公衆エリアでの充電」領域で E V 充電サービスを開始**する予定。

	私有エリアでの充電 (プライベート充電)	公衆エリアでの充電 (パブリック充電)	
用途 イメージ	 帰社・帰宅時の充電	 休憩時や買い物時の充電	 長距離移動時の充電
主な 設置場所	事業所・自宅	商業施設・飲食店 宿泊施設・物流拠点等	高速道路SA/PA 道の駅 等
充電時間	6時間以上	30分以上	30分以下
当社提供 サービス	 EVパッケージ サービス (2020年～サービス導入済)	 【今回発表】 E V 充電サービス	

◆先行開始

開始時期	2024年2月頃
実施エリア	先行導入企業の店舗（具体的なエリアは調整中）
設置場所	先行導入企業 ※その他企業とも設置拡大に向けて調整中 （株式会社エイチ・ツー・オー商業開発、上新電機株式会社、株式会社トライアルカンパニー）

◆サービス開始

開始時期	2024年4月頃
実施エリア	全国
設置場所	商業施設（ショッピングセンター、百貨店、アウトレットなど）や小売店（家電量販店、ホームセンターなど）等 ※先行導入企業に加え、今後新たな導入企業を拡大
目標	2024年度末までに、1500口の設置を目指す

E V 充電サービスの特徴

- 国内で初めて、時間単位での充電予約と時間帯別の充電料金を組み合わせたサービスを提供する。
- クーポン配信をはじめとした施設との連携により、E Vをご利用のお客さまの利用目的を創出し、**商業施設等の集客力向上に貢献**。
- E V利用者は、専用アプリの利用によって、**充電する場所・時間・料金を選んで充電**が可能に。

対 象	特 徴		内 容
充電器設置者 (E V 充電器を設置する 商業施設や小売店等)  	充電器設置ワンストップサービス		・お客さまに応じた充電器のご提案、補助金申請から工事・設置、運用までを一連で提供
	E V 利用者 向けの 専用システム※	時間単位予約	・時間単位での充電予約設定
		多様な 料金メニュー	・【国内初】時間帯別の料金設定 (将来的には、ダイナミックプライシングを志向) ・優待会員等の属性割引
		店舗・施設連携 サービス	・施設への集客支援に貢献するクーポン配信機能
	ゼロカーボンソリューション		・再生可能エネルギー、C O ₂ 削減量の見える化等
	エネルギーマネジメント		・充電器を含む施設全体のエネルギーマネジメント
 E V 利用者  (個人・法人)	時間単位予約		・スマートフォンから充電場所、充電時間、充電料金を選んで充電できる専用アプリの提供

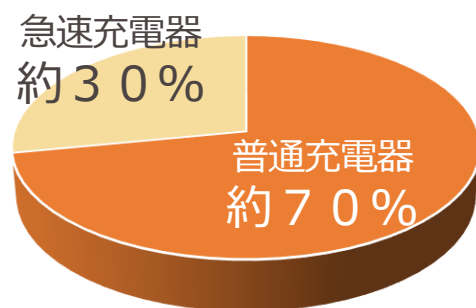
※導入先企業が当社から提供された専用システムを活用のうえ、E V 利用者へ提供するもの。

<参考> E V 充電インフラの整備状況と今後の展望

- 2022年度時点で、国内の公衆エリアにおけるE V 充電器の設置台数は約3万口。
- 政府は、充電インフラ設置の目標について、2030年までに全国で30万口とする方針も掲げている。
- このように現在、国内ではE Vの普及に向けて、充電インフラ整備が社会課題となっている状況。

<公衆エリアにおけるE V 充電の台数実績・予測>

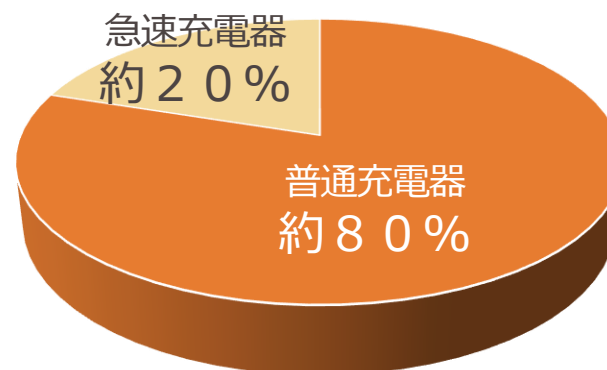
2022年度（実績）



約3万口

約5倍

2030年（目標）



約15万口

政府目標は
約30万口の方針

普通充電器	約2.2万口
急速充電器	約0.8万口

普通充電器	約12万口
急速充電器	約3万口